

新科学館の施設概要

1 テーマ

科学や技術への興味・関心を高め、北九州市の未来を担う人材を育む、賑わいを創出する科学館

2 コンセプト

- **誰もが科学に興味を持つきっかけづくり**
最先端のプラネタリウム、科学の面白さを体感できる展示など
- **技術系人材の育成**
北九州市の人材を活用した実験・ワークショップの実施など
- **北九州市の技術の発信**
地元企業や大学等と連携し、「ものづくりのまち」ならではの技術の発信など
- **周辺施設と連携した賑わいづくり、集客力アップ**
いのちのたび博物館や北九州イノベーションギャラリーなど、周辺施設との連携・調整

3 対象者

子どもを中心とする全世代、修学旅行生、国内外からの観光客

4 立地場所

北九州市八幡東区東田地区のスペースワールド跡地（イオンモール新施設敷地内）

※新設館に加え、現・北九州産業技術保存継承センターを新科学館として一体的に運用予定

5 主な施設内容

- **国内最大級のドーム、世界最高峰の機器を備えたプラネタリウムと大型天体望遠鏡**
究極に再現されたリアルな星空と高精細なデジタル映像が融合したハイブリッドプラネタリウム。ゆとりある座席、国内初のランウェイ、車椅子席、乳幼児避難室なども装備。
土星の環や木星の縞模様等もクリアに観察可能な口径 50cm の反射式望遠鏡を屋上に設置。
- **大型竜巻発生装置、藤田哲也博士顕彰コーナー**
国内最大の竜巻発生装置や本市出身で気象学の世界的権威であり「Mr. トルネード」と呼ばれた藤田哲也博士の顕彰コーナーを設置。
- **地元の技術や貴重資料の展示**
地元の企業や大学の技術・研究内容やスペースワールドから引き継いだ月の石、アポロ司令船等の貴重な実物資料を展示。
- **体験・体感や科学的な思考プロセスを重視した展示**
不思議な科学現象を体験・体感し、その原理の探求へと導く展示構成。VR・AR等のデジタル映像技術も活用。
- **新型コロナウイルス感染症への対応**
十分な換気や消毒等に加え、事前予約システムによる混雑対応や個人のスマホを活用した非接触型コンテンツの充実、地元企業の技術を活用したウイルス対応部材の使用など。